

通し番号：446

HP 番号：

第5章 4.3.2 隅切り長の計算（現行版 p.124～）

図 5-4-5 と図 5-4-6 の隅切り部（B-B'線）の描き方が紛らわしい。

＜対応方針：対応する（アルファベットの使用を工夫する）。＞

混乱をきたしている要因は、図 5-4-5 の点 a と図 5-4-6 の点 A は同じものを示しているにもかかわらず記号の付け方が異なっていることや、図 5-4-5 の点 B と図 5-4-6 の点 B は同一の点でないにもかかわらず同じ記号を用いて表現されていることによる。また、本文には図 5-4-2 に従って導流路設計を行うと記されており、図 5-4-5 の記号は図 5-4-2 と一致していることから、図 5-4-5 の記号の振り方をベースにして、図 5-4-5 及び図 5-4-6 について一部記号の変更を行い、それにあわせた形で本文の記述を訂正した。

（例：図 5-4-5：a→A₁、O→O₁／図 5-4-6：A→A₁、B→C）

○作業の進捗状況

下記の通り修正してみたが、問題ないか。

4.3.2 隅切り長の計算

隅切りを決めるには、表 5-4-4 から対象とする平面交差における左折の設計車両と通行方法を求め、その走行に必要な導流路の設計を前記図 5-4-2 の方法により行い、図 5-4-5 に示すように導流路の内側の曲線 ABB'A'を、ついで弧 ABB'A'に対し最小 50cm 程度の余裕があるように歩道縁石前面の巻き込み線(弧 A₁A₁')を描く(図 5-4-5 参照)。この歩道巻き込み線 A₁A₁' に対し、図 5-4-6 に示すように、歩道幅員の広い側の巻き込み始まり点 A₁ から官民境界線に直交する直線線 AB を引く。その交点 C と官民境界線を延長した交点 O' との距離 O'C に 等しい距離 O'C' をとり、その端点 C' と C を結び ぶことにより、必要な隅切り を決める。

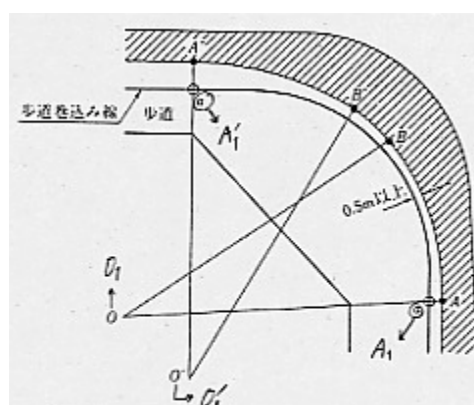


図 5-4-5 車両の占有幅と歩道縁石の巻き込み

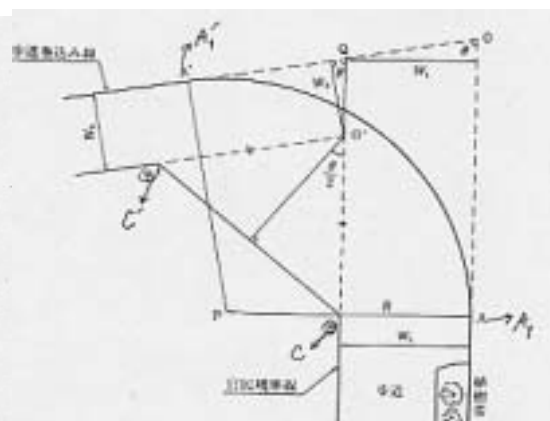


図 5-4-6 歩道縁石の巻き込みと隅切り

図 5-4-6 において、 $\theta = \angle A_1OA_1' = \angle CO'C'$ ，歩道等の幅員をそれぞれ W_1 ， W_2 ($W_1 \geq$

W₂), 歩道縁石の巻込み半径(隅角半径)を R とすると($\overline{PA_1} = \overline{PA_1'} = R$)

$$\overline{OA_1} = \frac{R}{\tan \frac{\theta}{2}}$$

一方、

$$\overline{OA_1} = \overline{O'C} + \frac{W_2}{\sin \theta} + \frac{W_1}{\tan \theta}$$

よって、

$$\overline{O'C} = \frac{R}{\tan \frac{\theta}{2}} - \frac{W_1}{\tan \theta} - \frac{W_2}{\sin \theta}$$

隅切り長 $\overline{CC'}$ は、 $\overline{O'C} = \overline{O'C'}$ から、

$$\overline{CC'} = 2\overline{O'C} \sin \frac{\theta}{2} = 2 \sin \frac{\theta}{2} \left(\frac{R}{\tan \frac{\theta}{2}} - \frac{W_1}{\tan \theta} - \frac{W_2}{\sin \theta} \right) \text{ となる。}$$